



大 地

(じねんじょ通信)

発行者: 社会福祉法人じねんじょ
発行日: 平成17年5月19日

障害者保健・福祉の大変革の時代に

社会福祉法人じねんじょ
理事長 金原洋治

障害者の暮らしに大きな影響を及ぼす障害者自立支援法案が通常国会に提出され現在審議中です。法案の中身が公表されて以来、政府に対して障害者団体から反対や修正のための行動が活発に行われていますが、法案の成立は時間の問題のようです。この法案が提出された背景にあるのはやはり財源の問題です。団塊の世代およびその周辺の1000万人近くの人達が間もなく定年を迎え、税収が大幅に減少する時代に突入すること。もう一つは、平成15年に支援費制度が導入され、ホームヘルプサービスなどの利用者が年々大幅に増加し、安定した財源の保障が必要であることです。

この2つの状況から、今後長期間の見通しをもって安定したサービスを行うことができる制度改革が必要だという国の方針のようです。障害者自立支援法案の骨子は、①身体障害・知的障害・精神障害のサービスの一元化、②NPOなども参加可能な2種社会福祉事業への転換による規制緩和、③国の負担義務、④利用料の定率負担などが主な内容ですが、障害者や家族にとって一番大き

な問題は、減免や上限設定があるにせよ利用料が1割負担になる点と、成人しても一緒に暮らしている親や兄弟の所得に応じた負担が課せられるような制度になる問題です。負担の増加により、必要な支援を受けることを差し控えるようにならねばいいかと願っています。ご心配な点がありましたらわかる範囲でお答えしますので、施設長や理事長にお尋ね下さい。

じねんじょも2年目を迎えました。より良い支援を行うことができるように努力をしているつもりですが、利用者の方々やご家族の方々のニーズに見合うだけの支援には至っていないのではと思っています。研修を重ね、施設全体の機能や力量、職員の一人一人の力量をさらに高めてゆく努力が必要だと思っています。今後とも、ご指導ご支援のほどよろしくお願いいたします。



金原理事長も一緒にマンドリンコンサートに参加♪♪
演奏に合わせて素敵な歌声も披露しました！

年間行事予定

- 4月 一周年記念イベント
- 5月 親子野外活動～海峡ドラマシップ～
- 6月 おぎゃー献金 贈呈式
- 7月 セタ祭り
- 8月 花火大会 馬関祭り
- 9月 親子野外活動
- 10月 じねんじょフェスティバル
- 12月 クリスマス会
- 1月 成人を祝う会
- 2月 節分祭

☆キラリンピックで優勝☆

5月15日(日)に山口の維新公園で開催された、キラリンピックにメンバーの佐藤俊介くん(17歳)が出場しました。

陸上競技の「ビーンバック投」では銅メダルを獲得し、「スラローム2」では、なんと金メダルを獲得!!暑い日差しの下で大健闘でした。

6月の選考会で山口県代表に選ばれたら、11月に岡山県で開催される全国大会に出場できます!!

じねんじょでは、みんなで佐藤くんの祝勝会を行いました。

佐藤くん、おめでとう(>_<)



重症心身障害者地域生活支援センターじねんじょは、この地域で活動し始めて1歳の誕生日を迎える事ができました。メンバーさんをはじめ、保護者、育む会の会員、ボランティア、地域の方、多くの方々にお力添えや応援をいただき、この時を迎えることができましたことに、厚くお礼申し上げます。

重度の障害を持つメンバーさんと共に活動する中で、多くの人と関わることができました。メンバーさんの「生きる」が人を呼び、人と人とを結びつける、そのような力を感じることがありました。メンバーさんのその人が、その人だけにしかできない、その人だからできる「やくわり」というものがあるように思います。私たちは、その「やくわり」の環境づくりや支援をどの様にすれば良いのかを考えています。メンバーさんひとりひとりが、この地域でより良い生活をしていく、そのことが、人との関わりの輪を広げ、みんなつながっていくものだと思います。

最後にになりましたが、障害者福祉は2003年4月より措置制度から利用契約制度である支援費制度に移行しました。昨年秋に国は支援費制度を検証し、見直した結果のグランドデザインが提示されました。さらには法案として「障害者自立支援法」として国会で審議検討されています。賛否は別として、今後さらに障害者福祉の制度改革が予測される中、これからも皆様のご支援、御協力をお願い致します。

たとえば、買い物へ出かける時、近所の方に出会って挨拶をする。出会った人と気があっておしゃべりをする。スーパーに入ると匂いのイチゴの香りがする。その時メンバーさんと「おいしそう」と共感し合い会話が弾む、そのような身近な生活を通じて、人と交わって生きていければと思います。そして、金子みすゞの「わたしと小鳥とすずと」という詩がありますが、「みんなちがって、みんないい」ひとりひとりが認められ、尊重され、その人らしさを大切にしたい生活をみんな考えていきたいと思っています。

最後にになりましたが、障害者福祉は2003年4月より措置制度から利用契約制度である支援費制度に移行しました。昨年秋に国は支援費制度を検証し、見直した結果のグランドデザインが提示されました。さらには法案として「障害者自立支援法」として国会で審議検討されています。賛否は別として、今後さらに障害者福祉の制度改革が予測される中、これからも皆様のご支援、御協力をお願い致します。

じねんじょ新職員の紹介



じねんじょに勤務し始めて、早いもので1ヶ月がたちました。保護者の方々、職員の方々、そして何よりもメンバーさん一人ひとりの笑顔に励まされて、今日まで頑張ることができました。

私は中学生のころ読んだ「きんいろの木」がきっかけで福祉に携わりたいと思うようになりました。それ以来、障害があってもなくても共に生きる社会の実現の手助けができればと思い、福祉について学んできました。

現場での経験は初めてなので、まだまだ分からないことも多く、ご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、メンバーさんの笑顔をたくさん引き出せるような支援ができるようになりたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

小寺 美帆



じねんじょに来て、早2ヶ月が経った。短期間でこれだけの新しい発見と経験をしたのは久しぶりで最近の密度の濃い日々、ここ数年の自分はほんやりと過ごしてきたのではないかと、疲れた体で考えている。

私はじねんじょに来るまで、重症心身障害者と接した事はおろか、知識すらほとんど無かったので、初めて実習に来た時は不安と無力感でいっぱいだった。が、今では日々メンバーと関わる中で、少しずつそれが溶けてくるのを感じている。

たった2ヶ月では、具体的な目標や抱負といったものは見えてこないが、よく考えることが1ある。それは、私が休みの日にメンバーのうち一人だけでも「村中は今日休みか…つまらんなあ」と思ってくれたら、これ以上ないという事である。

知識も技術も無い私ではありますが、明るさと、無駄な（に見える）経験を携えて（25歳にして初就職）、メンバーさん、保護者の皆様、スタッフの方々とぶつかっていきたくてお思いますので、御指導の程、よろしくお願いいたします。

村中 大樹



ムリバンジ！！

寺尾 文彦

「ムリバンジ」(こんにちは、ご機嫌いかが?)

「ティリピーノ・カヤイヌ」(元

気です。あなたは?)

「ティリピーノ」(元気です)

「ジコモ、ジコモ」(ありがとう、ありがとう)

東アフリカ、マラウイ共和国の挨拶である。7年前、友達に会いにマラウイ共和国へ行ったのだが、ここでは必ずこの挨拶を笑顔でするのである。物質的に豊かではなくマラリア・住血吸虫と様々な問題があるのだが皆が“今、生きている”を感じており、お互いの命の確認を挨拶の中でしている。

生きている有難さから笑顔も自然と出ているのが解かる。僕は運が良く生きて帰れた。それだけで笑顔である。じねんじょには、いつも笑顔があり、そんな笑顔のメンバーは素晴らしく、いつも惚れる。

君達、最高！大好きじゃー！！でもそんな君達にお願いが…。また、いろんな事を教えてね。僕からのお願いです。それではよろしくお願いします。

ジコモ、ジコモ！！



よろしくお願いします！

増本 法徳

初めまして、増本と申します。

私は3ヶ月前にじねんじょで実習させていただきました。今思えば、その時はもう少しメンバーさんに関わることが出来たらいいなと思うくらいで、まさかその後の自分がここで働いているとは思いませんでした。そして未だに現在じねんじょで働いている自分に驚いています。

私は3月まで学生でした。福祉の事などは学校の授業で少し勉強しましたが、今ここで働きながら学ぶ事はとても多く、時々頭の中の整理をしながら悩んでいることがあるかもしれません。。。皆さん、そんな私を見た時は気軽に声を掛けて下さい。そして、いろいろなアドバイスをしていただけると嬉しいです！

こんな私ですが、私はメンバーさんが大好きです！これからもどうぞ宜しくお願いします。

これからどうぞ宜しくお願いします。

じねんじょ・むく・むかご職員紹介

**重症心身障害者
地域生活支援センター**

センター長 瀬口 孝幸

じねんじょ

施設長	石塚 忠志
PT兼「むく」施設長	藤崎 暢
看護師	宮川 奈美
栄養士	出口 千晴
支援員	柴田 美枝
支援員	杉村 粉津枝
支援員	村中 大樹
支援員	中村 桃子
運転手	小川 泰宏
調理員	鷲尾 愛子

むく

看護師兼「むかご」施設長	金崎 恵美子
看護師	池藤 あさ子
児童指導員	鈴木 育実
児童指導員	寺尾 文彦
保育士	浦野 美美子
保育士	増本 法徳
保育士	山崎 良子
保育士	榎谷 奈美
支援員	西林 美和
支援員	野村 真弓
支援員	八嶋 順子
支援員	大瀧 貴江
支援員	越智 裕子
支援員	小寺 美帆
支援員	米村 弘志
運転手	船越 美智子
事務員	上園 聡子
調理員	日野 富美
作業療法士	森川 かおり
作業療法士	



むかご

支援員	船越 智絵
支援員	新田 真由美

新しいロゴマークも仲間入り。
よろしくお願いします！！



春休み たくさんのメンバーたちと楽しく活動！！



ある時は
桜を見に・・・

春といえば・・・
お花見です！！



ある時は
菜の花を見に・・・

深坂の森にも
ドライブ！ドライブ！！



みんなで白鳥に
えさをあげているのかな？



じねんじょの午後は
みんなでゆっくりお茶タイム♪♪

運転手の米村さんも
一緒にひなたぼっこ

イベント準備で
大忙し(>_<)
河野さんのお礼状
をみんなで作成し
ました☆



夏休みはどんな楽しいことが待っているかな・・・また
違ったメンバーの様子をお伝えしたいと思っています。

じねんじょに新メンバー4名が加わりました！！

勇輔くん



育美さん



4名の歓迎お花見会の
下見に戦場ヶ原へ・・・

乃里子さん



じねんじょ1年生
のメンバーです。
みなさんよろしく
お願いします！

朱乃さん



4月はイベント盛りだくさん！！



バスに乗り込んで
戦場ヶ原へGO！！



保護者も一緒に新メンバー歓迎お花見会です。
みなさん、これからよろしくお願いします！！



しねんじょに戻ってからは
抹茶を点てて、私菓子で
お茶会。



大勢の前で始めのことば。
緊張の朱乃さんでした！！

河野康弘ジャズピアニストをお招きし
てのイベントでした☆



新スタッフの紹介も
忘れずにね！！



素敵な歌声でし
たね☆
コーロ・チェレステ
さん。
ありがとうございました！



河野さんと一緒に
ピアノ演奏♪
誠生くん。上手に演奏で
きてるかな？

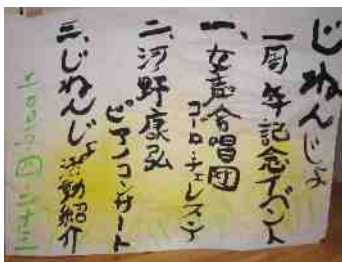


こいのほりか元気に泳ぐ5月。
しねんじょの活動はまたまた続
きます…。



河野さん&車輪くん
ハイチーズ！！

4月23日はしねんじょ
一周年記念イベント
でした！！
たくさんのご来場、
ありがとうございました。



プログラムはもちろん
メンバー手作り！！



利樹くん！おめでとう！！じゃんけ
んで勝ち残りました。
CDを頂いて河野さんと握手♪♪





「おぎゃー献金」を知っていますか？

「おぎゃー献金」という名前、どこかで耳にされた方も多いと思います。「おぎゃー献金」は、お産をされたお母さんを中心に、多くの方々の暖かい善意をハンディキャップを持った子供の保護、育成、またその研究にかかわる機関に献金をする運動です。

「おぎゃー献金」は、鹿児島県で産婦人科医院を開業していた遠矢善栄博士が、近くに住む重症心身障害の三姉妹を知り、救済する方法を八方手をつくして調査したのですが、昭和37年当時は収容施設すらなく、救いの道が固く閉ざされているのを知り、この子供たちに少しでも幸福を分け与えたいと、健康な赤ちゃんを産んだお母さん方、立ち合った医師、助産師、看護師さんに声をかけ、愛の献金をしたのが発端です。遠矢博士の提案を受けて、日本産婦人科医会は、昭和39年からこの運動を全国的に展開、今年度で発足40年をむかえます。

この間、20周年の記念式典では当時の皇太子妃、宮妃紀子殿下もご臨席くださいました。平成15年度までの献金総累計額は46億5,643万円余

に達し、全国延970の施設と、心身障害児のため、618の研究機関に献金を贈呈しています。またこの運動は国内ばかりではなく、世界からも注目されており、昭和56年にはインドネシア、昭和62年にはイタリアで開催された“ユニセフ国際会議”の招きを受けて講演もしています。

また、平成8年には韓国でも講演をいたしました。56年の会議開催国インドネシアでは、既にこの運動もスタートしています。本ホームページをごらんになる方と私たち日本産婦人科医会の会員とで、ハンディキャップを持つ人たちのために、今より強い連帯ができていければと願っています。なお献金は厳正を期するために「財団法人・日母おぎゃー献金基金」という日本産婦人科医会とは別の法人で扱っています。

【日母 おぎゃー献金ホームページより】



今年度の「おぎゃー献金」は、全国で26施設が贈呈を受けますが、そのひとつに当センターが選ばれました。「おぎゃー献金」の贈呈式を6月5日に当センターで行う予定です。

大型絵本、ミュージックテーブル、DVDレコーダーなどたくさんの品物をいただきましたので、今後の活動に役立てていきたいと思っております。

寄付者氏名（敬称略、五十音順）3月1日～5月17日現在

- ・じねんじょを育む会
- ・重症心身障害者地域生活支援センター 保護者会
- ・為井 健一
- ・やまぐち小児科
- ・山本 美代子

【ご寄付をいただきまして、ありがとうございます。】

アルミ缶を集めて

エス・エス・メタルへ換金に行っています！！

平成16年12月～平成17年5月の間に8回ほど換金に行きました。合計金額は¥25,155です。

換金したお金は、メンバーの誕生日プレゼントや、買い物に行った時のお小遣いとして使わせてもらっています。

ご協力下さった皆さま、ありがとうございました。引き続き、よろしく願いいたします。

ボランティア募集しています！！



散歩や買い物など一緒に活動

洗濯や掃除のお手伝い

話し相手や読み聞かせのお手伝い

お気軽に連絡ください。 担当：鈴木 西林

編集後記

「大地」の第2号を発行するにあたりまして、編集に協力して下さいました皆様、大変ありがとうございました。

この度の通信は、じねんじょ2年目に新しく仲間入りしたメバ・スタッフの紹介も兼ねて発行致しました。第1号の発行より2ヶ月余りしか経過していませんが、じねんじょではバツ盛りたくさんでした。ここには、ほんの一部しか掲載することができませんでしたが、春休みの慌ただしさや、イベント風景を知って頂けたのではないのでしょうか。

今年度が始まり、新しいメバ・スタッフ共に去年よりも充実した生活を送っていきたくと考えております。皆様に、ご迷惑やご心配をおかけするかもしれませんが、暖かく見守って頂ければ幸いです。第3号の発行は9月中旬頃を予定しています。

※新しいロゴマークは“デザイナズオ(株)ワーク・プロ”の三戸光顕さんのデザインです。

(池藤 八嶋 船越 柴田)